

問1 東京都渋谷区の統計によると、夜間にその区域に住んでいる居住人口は約22.4万人ですが、昼間の時間帯には周辺地域からの通勤・通学者が流入し、人口が約53.9万人にまで増加します。このような都市中心部で見られる人口の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。 2. 都心での生活コストが高いため、昼間人口よりも夜間人口のほうが多い状態になっている。 3. 交通網の発達により、昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。 4. 郊外へのオフィス移転が進んだ結果、通勤・通学者が減少し、昼間人口が減少傾向にある。

問2 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 房総半島 2. 能登半島 3. 紀伊半島 4. 渥美半島

問3 群馬県の嬭恋村などの標高が高い地域では、夏の涼しい気候を利用して、他の地域での出荷が少なくなる時期に野菜を栽培する「抑制栽培」が盛んです。東京都中央卸売市場における統計で、8月の出荷量が約1万2000トンとピークに達する、この地域を代表する高原野菜の名称を選択してください。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. キャベツ 2. はくさい 3. レタス 4. ピーマン

問4 関東地方の群馬県沼田市などで栽培される農産物を、新鮮な状態で都市部へ供給するために行われている工夫について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 高速道路網を利用して輸送時間を短縮し、早朝に収穫した品をその日のうちに店頭並べる工夫。 2. 貨物列車による定時輸送を徹底し、一般道路での渋滞を完全に回避して全国へ配送する工夫。 3. 船舶による大量輸送を導入し、輸送時間をかける代わりに鮮度を保つ特殊な冷蔵技術を用いる工夫。 4. 一般道路のみを使用して、ガソリン代や高速道路料金などの輸送コストを徹底的に削減する工夫。

問5 日本の河川について述べた次の文のうち、利根川の特徴を正しく説明しているものはどれですか。統計上の数値に基づき、適切なものを選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。 2. 日本で最も長い河川であり、その長さは約367キロメートルに及び、長野県から新潟県へと流れている。 3. 北海道で最も流域面積が広く、石狩平野を流れて日本海に注ぐ日本で2番目に流域面積が広い河川である。 4. 東北地方で最も長い河川であり、岩手県から宮城県へと流れ、太平洋に注いでいる。

問6 1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀公立入試 類似）

1. 果樹園 2. 水田 3. 荒地 4. 針葉樹林

問7 関東地方の人口統計において、東京都では昼間人口が夜間人口を上回る一方で、埼玉県や千葉県、神奈川県では夜間人口のほうが昼間人口よりも多くなる傾向にあります。東京都と対照的な数値を示す、これら周辺の県が果たしている役割や機能について述べた文として適切なものはどれですか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 住宅地としての役割が強く、都心へ通う人々の生活拠点となるベッドタウンとしての性格。 2. 昼間の労働力を確保するために、地方から多くの移住者を受け入れる工業集積地としての性格。 3. 都心へ供給する野菜や花を生産する、大規模な農業経営を中心とした農村としての性格。 4. 都心部から離れて静かに暮らしたい高齢者が集まる、限界集落としての性格。

問8 日本の諸地域のうち、関東地方にある県とその県庁所在地名の組み合わせとして、県名と所在地名が異なっているものの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 群馬県 - 前橋市 2. 栃木県 - 栃木市 3. 茨城県 - 茨木市 4. 千葉県 - 千葉市

問9 標高約1000mに位置する群馬県嬭恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬭恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山公立入試 類似）

1. 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。 2. 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。 3. 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。 4. 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。	渋谷区のような都心部や副都心では、商業施設やオフィスビルが多いため、昼間に活動する人が非常に多くなります。具体例として挙げられたデータでも、昼間人口が夜間人口の2倍以上になっており、これは多くの人が「住む場所」と「働く・学ぶ場所」を使い分けている都市構造を反映しています。
問2	<b>答え 1</b> 房総半島	この地域では地引き網による漁業が発展し、干鰯（ほしか）と呼ばれる肥料（金肥）が多く生産された。これは商品作物の栽培を支える重要な肥料として、西日本を含めた全国へ流通した。
問3	<b>答え 1</b> キャベツ	群馬県の吾妻地域にある標高800mから1400mの高原地帯では、夏の冷涼な気候を活かした「抑制栽培」によって、夏から秋にかけてキャベツが大量に生産されています。この時期は平地での生産が困難なため、東京都中央卸売市場などにおいて群馬県産の占める割合が非常に高くなります。
問4	<b>答え 1</b> 高速道路網を利用して輸送時間を短縮し、早朝に収穫した品をその日のうちに店頭並べる工夫。	道路網が整備された現代の農業では、特に都市近郊において「速達性」が重視されます。沼田市から東京の市場への移動時間を例に見ると、高速道路の利用により一般道路の約半分の時間（約150分）で到着できます。この時間の短縮が、農産物を「新鮮うち」に販売することを可能にしています。
問5	<b>答え 1</b> 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問6	<b>答え 1</b> 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松濤周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問7	<b>答え 1</b> 住宅地としての役割が強く、都心へ通う人々の生活拠点となるベッドタウンとしての性格。	東京都の周辺にある県は、都心部へのアクセスが良い場所に大規模な住宅団地やニュータウンが整備されてきました。多くの住民が昼間は東京都内の職場や学校へ向かうため、地域内の昼間人口は減少します。このように、都市の周辺にあって主に居住の役割を担う地域は「ベッドタウン」と呼ばれ、夜間人口が昼間人口を上回るのが特徴です。
問8	<b>答え 1</b> 群馬県 - 前橋市	関東地方では、群馬県（前橋市）、栃木県（宇都宮市）、茨城県（水戸市）、神奈川県（横浜市）、埼玉県（さいたま市）が、県名と県庁所在地名の異なる自治体です。栃木県の県庁所在地は栃木市ではなく宇都宮市であり、茨城県は水戸市です。千葉県は県名と都市名が一致しています。
問9	<b>答え 1</b> 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。	嬭恋村は標高が高く、夏場でも気温が低いという地理的利点があります。平地の産地では気温が上がりすぎてキャベツの品質が落ちる7月から10月の時期に、嬭恋村は出荷のピークを合わせることで、市場における競争力を高めています。このように出荷時期を遅らせる栽培方法は、暖かい気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的な特徴を持ちます。